

患者さまへ



当センターでは、より良い精神科医療を目指し、2016年4月よりBADO(Basis Dokumentation)を導入しました。

BADOは、患者さまの診療情報を統一された項目に沿って数値化し、当センターで行われた精神科医療の内容を客観化しようとするデータセットです。その際、患者さまの情報は、個人が特定されない形に加工されています。また、データ管理には細心の注意を払っております。

なお、BADOによって得られたデータは、より良い精神科医療の実現を目的として、統計的な形で学会等に発表される場合があります。当センターホームページにもその一部を掲載しておりますので、ご覧ください。

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

2019年7月5日

地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター

所長 田口寿子

※BADOに関するご質問・ご意見等について下記までお問い合わせください。

医療局 森脇久視